

南宇和高校農業クラブ 第35回「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰受賞!!

国道56号沿いの八幡神社前交差点と道の駅みしょうMIC前の花壇の維持管理および自分たちが育てた花苗の定植を行っている南宇和高校農業クラブが第35回「みどりの愛護」功労者において国土交通大臣表彰を受賞しました。

「みどりの愛護」功労者は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に向けて緑化推進活動の模範として国土交通大臣から表彰されるもので、農業クラブの各学年が作業を分担しながら国道沿いの景観向上に努めたことが評価されました。

和歌山県で開催された表彰式に出席した農業クラブ会長の浪口月花さんは「先輩たちから受け継いだ花壇の活動に全学年が協力して取り組み、今回の受賞につながったということがとてもうれしい」と話し、クラブの仲間と喜びを分かち合いました。



▲自分たちが育てたマリーゴールドをバックに笑顔を見せる農業クラブ員の皆さん

南宇和高校陸上競技部 清家悠大さん・二宮緋愛さん 相撲部 福原丈一朗さん インターハイ出場決定!



▲全国大会を見据える清家悠大さんと二宮緋愛さん

熱戦が繰り広げられた四国総体、陸上部からは2人がインターハイに出場します。

三段跳びに出場する清家悠大さんは「四国総体では自己ベストを出さないと予選通過は厳しいと思い緊張しましたが、一本目から上回ることができました。冬場に行ったウエイトトレーニング等の体づくりに励んでよかったです。インターハイでは予選を突破して決勝進出を目指したい」と力強く決意を話しました。

100メートルハードルに出場する二宮緋愛さんは「1、2年生の時は出場を逃し、今年こそはと思い、四国総体に臨みました。インターハイでは、周りの雰囲気になじめないように自分の走りをしたい」と意気込みを語りました。

互いに切磋琢磨し、インターハイ出場を夢見てきた2人。「常勝思想」で全国から集まった強豪選手たちに挑みます。

福原丈一朗さんは愛媛県大会・四国大会ともに圧巻の取組を見せて堂々の優勝を果たし、自身2度目となるインターハイ出場の切符を掴みました。

「昨年は3位で悔しい思いをしたので、今年は優勝を目指している」と力強く話す福原さん。日々の稽古では筋力トレーニングや課題克服に向けた対策など、自分が強くなるためにできること全てに力を入れており、「昨年の自分より成長出来ていると感じる」と全国の舞台を前に強い手応えを話します。

これまでともに汗を流してきた仲間たち、支えてくれた全ての人たちへの感謝の気持ちを胸に稽古に励む福原さんは、周囲からの期待を一身に背負い、高校生活の中で一番の目標として掲げてきた「全国制覇」を目指します。



▲昨年のリベンジに燃える福原丈一朗さん

愛媛県代表としてインターハイ(北部九州総体2024)に出場する3人を全力応援します!!

5/29 自分の手で植え、食のありがたみを感じる
緑小学校で今年も賑やかに田植え体験



▲苗の本数や植え付ける深さなどを意識しながら植え進め、あっという間に作業完了！
(写真は保護者からご提供いただきました)

気持ちの良い青空が広がった5月29日(水)、緑小学校に隣接する水田で田植え体験学習が行われました。

孝野覚也さん指導の下、緑小学校・船越小学校・福浦小学校の児童が田植えに挑戦し、南宇和高校農業科生徒からアドバイスを受けながら賑やかに植え進めました。

慣れない泥に足を取られるなど苦戦する様子の子供たちでしたが、10月の収穫を目指して手作業でヒノヒカリの苗を丁寧に植えることができ、他校の児童や高校生、地域の方々との交流を深めながら普段できない自然体験を満喫し、田植えを通して食や農業への関心を高めることができました。

5/31 組織の災害対処能力向上を図るため
県・市町災害対策本部合同運営訓練を実施



▲各部が連携して付与された情報の対応に当たった

5月31日(金)役場本庁で県・市町災害対策本部合同運営訓練が実施されました。この訓練では、収集した情報の整理・分析により町全体の被害状況を予測し、主体的な災害対処能力を身につけるとともに、災害対策本部の課題・問題点について検証し、組織の機能強化を図ることを目的としています。

今回の訓練では、事前にシナリオを明かさずブラインド方式で実施され、外部から入ったさまざまな情報を状況付与係が仕分けして対応を指示、総務対策部、生活環境対策部、福祉対策部、産業建設対策部、消防対策部に分かれた各部が対応処理して最後に集約し、情報共有および振り返りを行いました。

6/4-5 地域の生の声を県政に
令和6年度愛媛県議会地域の声を聴く会



▲地域の現状や課題など生の声をたくさん伝え、限られた時間の中で積極的な意見交換を行った

令和6年度「愛媛県議会地域の声を聴く会」が行われ、6月4日(火)に農林水産委員会、5日(水)に建設委員会が県議会・委員会の活動紹介や地域代表者として出席した町民と意見交換を行いました。

農林水産委員会が来庁した4日(火)は、町から海業推進会議委員5人が出席し「海業による地域活性化について」のテーマのもと活発な意見交換が行われました。翌日5日(水)、南宇和郡選挙区選出の中田晃太郎愛媛県議会議員が副委員長を務める建設委員会では、行政協力員や自主防災会メンバー4人が地域代表者として出席し、「大規模災害に備えた道路整備」のテーマで日頃の防災活動や4月に発生した地震の被害情報など積極的に意見交換を行いました。

創刊号に掲載された方、探しています。メッセージ求む!!

広報あいなん
20周年特別企画

広報あいなん20周年特別企画として、創刊号の表紙を飾った皆さまから、この20年間の思い(メッセージ)を募集しています。

20周年を迎える10月1日を記念し、広報あいなん10月号に掲載予定です。
※詳しくは7月号20ページをご覧ください。

【募集締め切り】 8月16日(金)



ご家族、ご親戚の帰省の際に
今一度、ご確認ください。
ご家族の方も大歓迎です!

あれ、自分じゃない...?!、うちの家族かも...?

と思ったら役場本庁総務課まで

電話:72-1211 / ファクス:72-1214

メール:somu@town.ainan.ehime.jp



※集まった投稿数により、メッセージの文字数等相談させていただく場合がございます。ご了承ください。

地域おこし協力隊 活動日記

愛南の呼吸 壱ノ型 草刈り

商工観光課地域おこし協力隊の吉田庄吾しょうごです。今年の4月に着任して、3カ月ほどがたち、生活は大分慣れてきました。今では、クモやムカデにお会いしてもわりと平常心で対応しています。地域の人達にも仲良くしていただき、新鮮なカツオも食べさせていただき、本気でおいしかったです!ありがとうございました!

都会のマンション暮らしでは、することのなかった草刈り。気が付けば夢中になり、汗だくでゾーンに入って刈っていました。さっぱりした庭を見ると、達成感と爽快感を覚えました。草刈りも楽しいもんですww。夏はパドルサーフィンやシュノーケリングをやりたいと考えています。また、僧都や西海をドライブしてお気に入りの場所を探しに行こうと思います。

仕事面では、愛南漁協の外国人研修生雇用



対策室で大変お世話になっています。びやびやかつお等の活気ある水揚げを見ることができ、愛南町唯一の技能実習監理団体で実務を学ぶことに感謝しています。異文化を持つインドネシア実習生と会うことは楽しく、その実習生をわが子のように大事に考えている漁師さんたちの人間性に感動しました。今後は、いろいろな人たちとお会いしお話を伺いたいです。

hati-hati.ではまた!